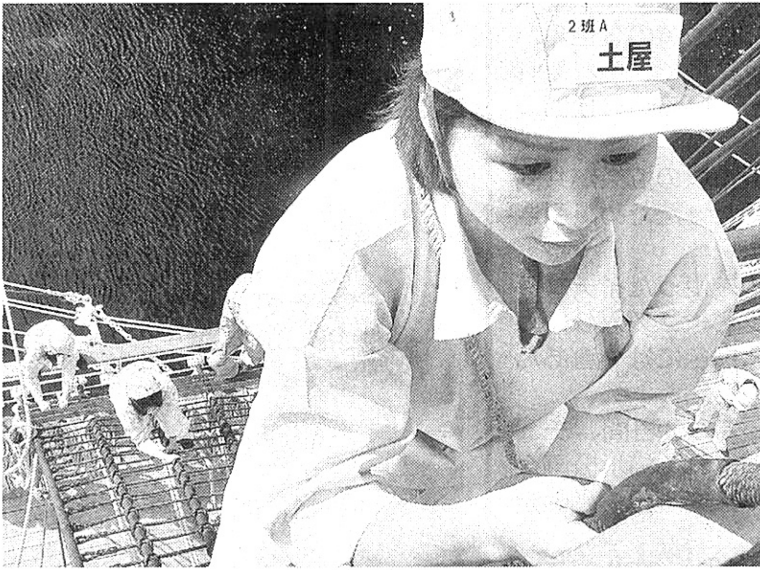
恐怖心に打ち勝て

帆船日本丸で研修

新入社員らマスト登る



研修でマストに登る新入社員
＝横浜市西区の帆船日本丸（吉田　太一写す）

横浜・みなとみらい21（MM21）地区に係留されている「帆船日本丸」で10日、横浜市工業会連合会主催の新入社員合同研修会が行われた。同市内などの中小企業13社に入社した、中途採用を含む18～37歳の男女44人がマスト登り（高さ約10㍍）に挑戦。恐怖心に打ち勝ち、一歩踏み出す勇気を学んだ。

トップバッターを務めた船舶修理会社の川中伸浩さん(26)は「上からの眺めが爽快だった」と笑顔。ろ過装置製造販売会社の土屋美沙希さん(22)は「マスト登りと同様、仕事も焦らずゆっくりと確実にこなしていきたい」と話した。

日本丸を活用した研修会はチャレンジ精神や協調性、連帯感などを体得してもらおうと、市工連が1987年から毎春、実施している。社員らは日本丸に宿泊し、11日も甲板清掃やカッターボート訓練などに励む。

（田口　要）